

山形市食肉衛生検査所職員2名の研究発表が高い評価を受ける

令和7年度獣医学術東北地区学会

- 平野主幹獣医師 **東北獣医師会連合会長賞を受賞**

「令和7年度獣医学術東北地区学会」が、令和7年10月8日に秋田市で開催され、平野主幹獣医師が発表した「管内と畜場のリステリア属菌環境モニタリングの有用性」が東北獣医師会連合会長賞を受賞しました。

令和7年度全国食肉衛生検査所協議会第36回北海道・東北ブロック大会

- 大竹主任獣医師 **優秀演題に選出**

「令和7年度全国食肉衛生検査所協議会第36回北海道・東北ブロック大会」が、令和7年10月22日に福島市で開催され、大竹主任獣医師が発表した「管内と畜場におけるリステリア及びサルモネラを指標とした環境モニタリングの構築」が優秀演題に選出されました。その後、令和8年1月23日に東京で開催された全国大会「令和7年度食肉・食鳥肉衛生研究発表会」で発表し、この全国大会での当所の発表は、昨年に引き続き2年連続となりました。



研究発表：大竹主任獣医師



細菌検査業務：大竹主任獣医師

食肉衛生検査所では、と畜場に搬入される家畜(牛や豚等)について、疾病を排除するためにと畜検査員(獣医師)が全頭検査を行い、またと畜場の衛生管理指導も行うことで、安全な食肉の流通を確保しています。

さらに、食肉の安全及び検査技術向上のため調査研究も行っており、本件は、その一環として継続的に取り組んできたものになります。今回の2名の研究内容は、と畜場に搬入される牛における人獣共通感染症の原因菌でもあるリステリア属菌等の保有状況や、と畜場の施設における汚染状況等を調査したものです。今後は、この研究成果をもとに、と畜場の衛生管理指導を強化し、更なる安全な食肉の流通確保に努めて参ります。